

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

頸動脈手術および開頭手術の周術期各種指標の変化について

●研究の対象

2025 年 10 月 1 日から実施許可日（2026 年 7 月 8 日）までに京都第二赤十字病院脳神経外科において、頸動脈手術または開頭手術を受けられた患者さんを対象とします。

●研究の目的

頸動脈の手術や開頭手術では、脳に血液を送る頸動脈の血流が変化する場合があります。これに対する頭蓋内構造物の反応によっては、手術後に手術部位から離れた臓器に合併症を生じる危険性が考えられます。今回、このような事象が発生する要因、割合などを調査することで頸動脈手術や開頭術が及ぼす影響を検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

- 情報：性別、年齢、身長、体重、診断名、既往歴、使用している薬剤、診断名、手術方法、手術時間、術中・術後合併症、周術期急性緑内障発作の有無、手術前および手術後の眼圧など
- なお、利用する上記の試料・情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報 は削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 脳神経外科 阪本 真人

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：脳神経外科 阪本 真人

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）